

コード	402021501
記入日	H27.7.28

新規事業評価表【事前評価】

課コード	111
課名	農林課
課長名	下山 透
担当者	浜辺 伊三美

作成年度	平成 27 年度
------	----------

評価対象事業名称	メル・カピイあおかた倉庫増築事業	事業種類	単年度事業
		事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け		
政策コード	4	政策名称	地域資源を活かした「産業のしま」	款コード	6	
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	1	
基本事業コード	40202	基本事業名称	農地の保全・有効利用と生産性の向上	目コード	3	
事務事業コード	4020215	事務事業名称	農業施設管理事業	細目コード		
関連計画					法令・条例規則等	

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標
(対象1) 農産物出荷販売者数 (対象2) 消費者等	(対象指標1) 153名 (対象指標2) 不特定
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標
・農産物の出荷・販売を効率的に行うために倉庫を増築し、暴風雨対策として、通路に扉を設置する。 →倉庫増築 (8.1m) →引込み戸設置	(活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 倉庫増築工事 1.0式 平成27年度 ②
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標
・「メル・カピイあおかた」では、農林水産物や地域特産品の販売を行っており、ダンボールやケース等の利用が多い。しかし、現在、その保管場所は無く、店舗及び事務所の裏側の軒下に置いているが、風雨の強い日には置くことができない状況である。また、店舗と事務所の中通路においても、風雨の強い日に雨が降り込み、事務所ドアの下から雨水が事務所内に入り込む状況である。農産物の出荷販売の向上を図るため、通路を開閉式扉を設置するとともに、裏側の軒下を収納用倉庫を増設する。	(成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 農産物出荷販売の向上 - 平成27年度 ②

実施 (DO)

	単位	全体計画		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度以降
		H 27 ~ H 27								
活動指標	① 式	1	1							
	②									
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	1,496	1,496							
直接事業費 A	千円	796	796							
人件費 B	千円	700	700							
内 訳	従事職員数	人	0.1	0.1						
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	1,496	1,496						

評価 (CHECK)

評価項目		内 容
1 次 評 価	・事業の緊急性・必要性はありますか。	メル・カピイあおかたは、週5日営業しており、倉庫は直ちに必要なものである。また、暴風雨対策も、店舗及び商品への影響を考えると直ちに必要である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	効率的な農産物の出荷販売を行うためには適切である。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	直売施設は町の施設であるため、町が実施すべき事業である。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	効率的な農産物の出荷・販売が出来ない。また、施設内に雨水が入り込み、悪影響が考えられる。
	・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	必要最小限の経費での整備であるため、削減できない。
	・受益者負担は適正ですか。	受益者負担は求めない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業なし。

2次評価	本施設は、地元の少量多品目生産の特徴を活かし、直売所を通じて消費者に農産物を提供することにより、多くの観光客や地元消費者が集まり、生産者と消費者の交流が図られている施設である。地産地消の推進や農家所得の向上など、生産者及び消費者等の利便性を図るため必要な事業であると判断するが、道の駅の候補地としての計画もあるため、将来的な施設の整備計画など有効的に利用が図れるよう、事業の内容及び事業費について協議、検討を行うこと。
-------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
		●		事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				実施期間を見直して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。